

ムリシャーニ？（私の住む地域で話されているベンバ語で How are you?）皆さんこんにちは。私は2017年1次隊の青年海外協力隊のボランティアで、2017年7月11日から2019年7月10日までアフリカ南東部にあるザンビア共和国という国で体育隊員として活動しています竹谷郷一です。

南半球に位置するザンビアは日本とは季節が反対なので、今は冬です。私が到着した7月が真冬にあたり、朝晩はダウンジャケットを着ていました。しかし昼間は半袖で生活できるほど暖かくなります。そして最近は日中の気温が徐々に上がってきているのを感じます。

ザンビア

ザンビアは内陸国で8カ国と接しています。隣国ジンとの国境に世界三大瀑布の一つであるビクトリアのり、野生動物も多く住んでいます。また、40年以上起こっていないことと、温厚な国民性からアフリカで和な国の一つとも言われています。



首都ルサカについて

首都に行けばショッピングモールが立ち並び、お金さえあれば何不自由なく生活できます。しかし、すりやひったくりには注意しなくてはなりません。内戦が起こっていないザンビアは他のアフリカ諸国と比べて比較的安全と言われていますが、軽犯罪には注意が必要です。交通手段は鉄道もありますが、車が非常に多く走っていて朝や夕方は渋滞も見られるほどです。また非常に多くの車が日本から輸入されていて日本語で書かれたカーナビやオーディオの説明書きを現地の人から質問されることもあります。



ルサカが一番高いビルにはサムスンの広告が入っています

私の活動する場所 ムフリラ

首都ルサカからバスで8時間ほど北に行ったところのムフリラという村にある教員養成校で、現地の先生と協力して体育の授業を行っています。この辺りの地域はコッパーベルトと呼ばれ、銅の産地として有名です。日本の10円玉にもここで採れた銅が含まれています。



何を食べているのか

主食はトウモロコシの粉をお湯で練ったもので、ザンビアではシマと呼んでいます。周辺の国でも同じものが食べられているようです。シマにはほのかにトウモロコシ風味がついています。ザンビア人にとってのソウルフードで、日本人にとってのお米といえはザンビア人がどれくらいの頻度で食べているかわかって頂けると思いますが。ザンビアでは塩で味付けされた野菜とチキン、ビーフ、魚などの肉と一緒に素手で食べます。僕はシマが大好きで、毎日昼と夜食堂で食べています。一食 150 円（15 クワチャ）と安いのでお財布にも優しいです。写真はシマとチキン、チキンの下には野菜です。変わりダネでいくと毛虫なんかも食べることが出来ます。味はほとんど海老です。（気持ち悪いので写真は小さくしておきます。）



物価

通貨はザンビアクワチャ。ファストフード店では大体 400 円（40 クワチャ）ほどでセットメニューと飲み物が食べられます。前述したザンビアの主食であるシマは 150 円（15 クワチャ）と考えると少し高めです。野菜や果物はスーパーで買うと日本と変わらないか少し買うことができます。路上で売っている野菜（トマト、レイプ呼ばれるは野菜）はもっと安く買えます。小ぶりのトマトが四つで 30 円。

言葉

ザンビアでは英語が公用語になっています。彼らは非常に挨拶を大事にしているので必ず顔を合わせると **How are you?**や現地語で **Mulishani?**と聞かれます。ほとんどの人が日本は中国の一部だと思っていて「ハロー、チャイニーズ！」と声をかけられますが、毎回「アイム ジャパニーズ」と言い返しています。すると、「あー、そっかそっか、ごめんごめん、そういえばハローは中国語でなんていうの？」と聞かれるので、言葉も違うことを理解してもらってから会話がスタートします。授業を始める前にはわざと「こんにちは」と日本語で言って始めているのでこれから浸透していくことを願います。

最後に

私はまだ任地に来て日が浅いので本格的に授業を始められていませんが、これから教員養成校での活動や日常の様子などを報告させていただこうと思いますのでよろしくお願い致します。(写真は首都の小学校で教室を借りて現地語を勉強していた時に現地の子供達と、同期のボランティアと撮影したもの)

